

4月

みんぱくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんぱく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、
話題や内容は実に多彩。
どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

7日
(日曜日)

話者：上羽陽子（国立民族学博物館 准教授）
話題：ザフィマニリの編みもの
会場：特別展示館

14日
(日曜日)

話者：池谷和信（国立民族学博物館 教授）
話題：マダガスカルにおける狩猟採集民のくらし
会場：本館展示場内ナビひろば

21日
(日曜日)

話者：崎山理（国立民族学博物館 名誉教授）
話題：マダガスカルの言語文化のルーツと変化
会場：本館展示場内ナビひろば

28日
(日曜日)

話者：吉本忍（国立民族学博物館 教授）
話題：マダガスカルの織機と織物
会場：特別展示館

1年間みんぱくに何度でも入館できる 「みんぱくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
 - ◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
 - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

編集後記

春の陽気に蝶の舞い遊ぶ四月。私もついに羽化して、ヘンシュウチョウになってしまった。これを機に、小誌もプチ変身。「台割り」を変え、特集にももう少し彩りが加わるようカラーページの位置を移した。さらに「似たモノさがし」、「人間学のキーワード」、「制服の世界、世界の制服」の三つの新しいコーナーが誕生した。「似たモノ」は、ちよっとおもしろい切り口で通文化的にみんぱく所蔵品を紹介するページ。「人間学」の欄は「知ってるつもり」になっている専門用語を身近な事例で分かり易く解くことを目指している。「世界の制服」では、服と時代と地域となりわいと自己認識のつながりに迫る。

本号の編集作業が終わりかけようとしているとき、山口昌男氏の逝去を新聞で知った。まさに「トリックスター」——知的挑発者、創造的いたずらもの——として、文化人類学のみならず日本の人文学・芸術界を牽引してきた方だ。山口氏ほどの大物トリックスターになりきる勇氣はないが、一委員として小誌の編集に関わってきたイモムシ、サナギ期（実は連続8年!）の間に蓄えた経験をバネに、遊びゴコロのある雑誌づくりに励む所存である。（山中由里子）

- 表紙：張り子人形（シヨロシヨロ狐） 標本番号：H0122612
- 地域：日本、鳥取県
- 山のふもとのシヨロシヨロと水が流れ落ちる所で、美しい娘に化けて人をだましていた狐にちなむ。

次号の予告

特集 日本の文化

月刊みんぱく 2013年4月号

第37巻第4号通巻第427号 2013年4月1日発行

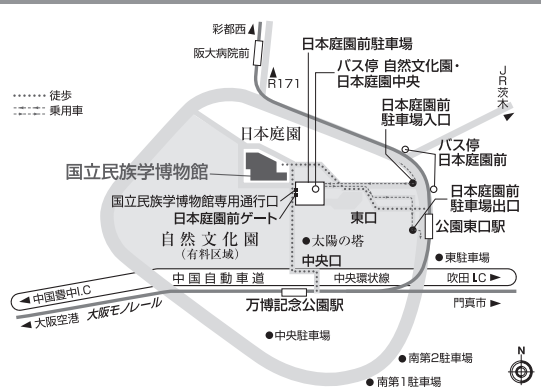
編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂
編集委員 山中由里子（編集長） 榎永真佐夫 久保正敏
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一孝
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

- *本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
- *本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。



みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

